

令和4年 第5回定例会（9月）

一 般 質 問

質問 順位	議席 番号	質 問 者	質問 順位	議席 番号	質 問 者
1	6	高橋政喜	6	8	宮田真理子
2	3	和田一郎	7	10	佐藤守正
3	9	田村計久	8	1	高波大吾
4	2	渡辺千恵	9	5	並木利彦
5	4	南雲好幸	10	12	南雲正

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. JR上越線踏切の拡幅並びに周辺道路整備について</p>	<p>平成 11 年 9 月 1 日 湯沢町議会議長 山本邦悦様へ、請願書が提出されました。</p> <p>請願者は、上熊野町内会長・下熊野町内会長・一之町町内会長・西山町内会長の連名で出されたものです。</p> <p>1 要旨</p> <p>(1) JR上越線三国踏切の幅員を県道神立湯沢線の道路幅員に合わせた改良について、関係機関に要請していただきたい。</p> <p>(2) 越後湯沢駅に停車する上り列車が、ホームに近づくあたりから三国踏切の警報機・遮断機が作動するため、通行者は長時間踏切を渡れないことの改善についても、関係機関に要請していただきたい。</p> <p>2 請願の理由</p> <p>県道神立湯沢線は、熊野地区と一之町地区を結ぶ最短の生活道路として、地域住民にとって重要な役割を担っております。また近年同県道の改良が進んだことで、国道のバイパスとしての価値が高まり、交通量も増えている現状です。さて、熊野地区と一之町地区の境界といわれる所にJR上越線三国踏切があります。</p> <p>昭和 57 年 11 月上越新幹線が開業するまでは、上越線は列車の運行本数が大変多かったため、この踏切には早くから警報機と遮断機が設置され、以来通行する人、車の安全を守ってまいりました。さらに通報表示や指示標識も適切であり、事故防止対策は万全であると評価致しております。しかし、残念ながら踏切を通行する者にとって、非常に不都合を感じる場合があります。まず踏切が狭いということです。構造的に狭い上に両側に立っている白緑のポールが、一層踏切を狭くしております。</p> <p>したがって歩行者及び車のドライバーは、この踏切を通行する時、常に細心の注意を払わなければなりません。車同志のすれ違い際の接触、白緑ポールとの接触、歩行者と車の接触等々多くの通行者が不安を感じております。歩道の区分もない為、特に高齢者にとっては危険を感じる所があります。このようなことから通行する者の立場をぜひご</p>	<p>町長</p>

理解いただき、県道並みの踏切拡幅をお願いする次第です。

次に越後湯沢に停車する上り列車が、駅ホームに近づくあたりから、警報機が鳴り遮断機が下ります。止まらずに通過する列車であれば保安上当然と解しますが、遮断機は停車する列車であるにもかかわらず、列車が踏切を通過するまでの間下りています。わずか数分とはいえ、列車が駅に停車している間踏切を渡れないことは、通行者にとっては理解し難いものであります。急ぐあまり遮断機をかいくぐるって通行することもままあり、事故につながることも考えられます。ぜひ改善をお願い致します。

踏切事故は起きれば大事故になってしまいます。事故を未然に防止することは施設管理者の責任だけでなく、通行する利用者もルールに従わなければならないことは申すまでもありません。JR 三国踏切の安全が引き続き確保され、通行する者にとっては今以上に利便性が高い踏切となるよう、改良・改善について関係機関に対し、積極的な要請を地域住民代表としてお願いするものです。

と記されていましたが、当議案は日程第8請願8号として本会議場において請願され次のようになりました。

議長：説明が終わりましたので、これより質疑を行います。
質疑ございませんか。

(なし)

議長：お諮りをいたします。質疑を終結し、討論を省略して直ちに採決をしたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

議長：異議なしと認め、採決をいたします。 日程第8、請願第8号 JR 上越線三国踏切の拡幅改善に関する請願、本請願を採択するに賛成の方はご起立をお願いします。

(起立全員)

議長：起立全員で、本請願は採択することに決定しました。

となりましたが、その後の対応と対策はどのようなものか伺います。

<p>2. 「第2次湯沢町生涯学習推進プラン」ダイジェスト版について</p>	<p>生涯学習推進基本構想の目標像は「人が育ち、地域を育むまち」。基本目標2の「活かす」には、「童画のまちづくりの推進や文化財の保護等を進めることで町の文化の継承につなげる。」また、その方策に「生涯学習推進基本計画」があり、展開として「川上四郎の功績を記念した『日本童画の父川上四郎記念 越後湯沢全国童画展』を継続開催します。「童画のまちづくり」について、短期・中期等の期間も考慮しながら推進していきます。とあります。</p> <p>また、教育委員会のホームページでは、「童画」について次のように述べられています。</p> <p>「童画」という言葉は、「児童画」と混同されてきた側面もあるが、大正7年(1918年)“赤い鳥児童画文学運動”昂揚(こうよう)の中で、小川未明などの「童話」や北原白秋・西條八十・野口雨情らの「童謡」などに対応して、確立されてきた近代絵画の一部であり、その意味で純粹素朴の童心を基調とした絵画性、文学性、詩情・物語性とが渾然(こんぜん)一体となった絵画ということが出来る。</p> <p>と解説されていますが、「童画」とは、この説明でよろしいでしょうか伺います。</p> <p>このごろの越後湯沢全国童画展の作品は、芸術性が高まり、童画であるかどうか、理解に苦しむものになりました。</p> <p>理解に苦しむようになった「童画」と言う言葉についての説明を合わせて伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 防災緊急ラジオについて</p>	<p>近年、「異常気象」という言葉を、たびたび聞くようになりました。湯沢町にも地域防災計画があり、「風水害」「雪害」「震災」等が細かく記載されています。</p> <p>この計画書は事後の計画書ではありますが、災害等が発生する前、また、事後に町民の皆様へのお知らせのため全戸配布を目的として、防災緊急ラジオを平成30年に3,000台(金額25,596,000円)購入しました。しかし、令和4年8月19日現在配布された台数は1,323台、在庫数は1,677台で、令和4年7月末湯沢町の世帯数は3,932世帯です。</p> <p>令和4年3月定例会にて9番議員への答弁は「広報等での周知」「マンション内の掲示板での周知」と言われていますが、その効果はどうであったのか伺います。</p>	<p>町 長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 空き家対策について	<p>昨年12月議会において、「空き家や廃屋の増加が全国的に問題で、湯沢町では特に除雪がされていない廃屋の、落雪は危険である。」と空き家対策について質問した。</p> <p>見回り等をしながらか、しっかりとした体制をとりたいとのことで答弁いただいたところであるが、その後の進捗状況はどうなっているか。</p>	町長
2. 路線バスの運行経路について	<p>現在の路線バスの運行経路は、国道を通るだけの設定となっている部分が多い。バス停まで距離があると、歩いていくのが大変という高齢者もいると思うが、よりきめ細やかに、村の中まで入っていくような経路の設定はできないか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 冬季間道路除雪対策の取り組みについて	<p>早いもので、冬の到来に向けた会話も聞こえ始める時期となりました。今冬の豪雪は、地区によっては経験したことがないような事態を経験することになり、改めて冬季間の生活道路の確保の必要性を強く感じたところです。</p> <p>降雪までの3か月、準備と対策について伺います。</p> <p>町内要望の道路改良、除雪・消雪関係に対する取り組みと、今冬問題となった「県道湯沢温泉線」の消雪設備の対策は、万全かお答えください。</p>	町長
2. 雪国魚沼ゴールデンサイクルルートについて	<p>令和3年8月に、湯沢町・南魚沼市・魚沼市を結ぶ全長185キロの広域サイクリングルートが、新潟県で初となるサイクルツーリズムの推進モデルルートに設定された。今後は、ナショナルサイクルルートの指定を目指すところだが、現在の取り組み状況と今後の我が町の取り組みについて伺います。</p>	町長
3. コロナ終息後の観光対策と「観光の町・湯沢」の再生と復活について	<p>終わりの見えないコロナ感染症。すでに3年目に入って、事業者には厳しい状況が続いている。</p> <p>政府支援の経済融資は据え置き期間も終わり、返済が始まるとともに、中小企業の倒産件数も多くなっている。</p> <p>何とか頑張る事業者に、少しでも明日に希望を持たせる経済政策、すなわち町長が3月所信表明で掲げた「観光の町湯沢の復活と再生」このことに尽きると思う。次に向けた観光対策は、他の観光地に大きく遅れを取っていることは明らかであります。</p> <p>ここまででも、私には実感できる動きが見えない。町長の考える対策とその計画を、今後どのように進めるのか、明確にお答えください。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. スケボーパークについて	<p>① 今まで使用していた高速下のスケボーパークが工事の為、今シーズンから4年間使えなくなりました。</p> <p>スケボーストリート協会の田村君が何度か役場を訪れ、他の場所を使うことができないかと相談に来ているが、なかなか条件のあう場所がなく現在も決まっていません。</p> <p>高速下のパークができる前は駅の周辺、ビール園の辺りで好きなように滑っていて、騒音などの苦情が問題にもなっていました。スケボーパークができてからは苦情もほとんどなくなり、マナーもよくなってきたと感じていました。しかし、今年はやれる場所がないせいか、元の状態に戻ってしまった様子も見受けられます。また、せっかく始めた小学生の子供達も、なかなか練習する場所がなく残念に思います。やはり、安全にかつ自由に利用できるスペースは必要と考えます。町としても環境を整えることができないか伺います。</p> <p>② 今回、主水公園の実施設計の町民要望の中にも、「スケボーパークが欲しい」という要望もありました。</p> <p>スケートボードは、今回のオリンピックから正式種目にもなり、また日本人が活躍する種目として、注目されています。</p> <p>今後、子供達の選択肢の一つとして、スケートボードを「スポーツ」として捉えるのか、「ただの遊び」として捉えるのか、町長のお考えをお聞かせください。</p> <p>③ これから若者をはじめ、町民の中でスケボーパークが欲しいという声が大きくなってきたら、町としてはどのような対応をしていくつもりがあるのか、現在お考えがありましたらお聞かせください。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁要求
1. 湯沢学園学校運営協議会の運営について	<p>湯沢学園はコミュニティスクールとして運営が行われているが、コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みと、文部科学省は謳っている。そこで湯沢町の学校運営協議会は「家庭」「地域」からの声をどのように反映させる仕組みになっているか伺う。</p>	教育長
2. 教育委員会の取り組みの周知について	<p>他の自治体では、教育委員会の傍聴、会議録の自治体ホームページでの公開、「教育委員会だより」の発行、教育長記者会見など、教育行政の推進に係る施策や取組について、周知することを目的として教育委員会が各種の取り組みがされている。湯沢町では、教育委員会の事業・活動の町民への周知活動としてどのような取り組みをしているか伺う。</p>	教育長
3. 教育における「町民参加によるまちづくり」の推進について	<p>コミュニティスクールとして始まった湯沢学園ですが、設立から8年が経ちました。「保小中一環教育グランドデザイン」に掲げた「地域住民の声を学校運営に活かす。地域と学校が目標を共有し、子どもの豊かな学びを創造する。」という目的に対し、そして特にコミュニティスクールとして学校運営協議会を設置し「地域住民の声を学校運営に活かす。」という点について町長の評価を伺う。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. スケートボードパークのその後の動きについて	<p>ストリートスポーツ委員会が行っていたスケートボード教室が、その後どのような活動ができているのか、町として持っている情報があれば伺いたい。</p> <p>また、スケートボードパークについて文章やSNSでの署名活動が行われていた。このことについての町長の見解を伺う。</p>	町長
2. ゴミ袋の販売について	<p>現在 20 枚入りでの販売を、枚数での販売にもして欲しいという要望があった。期間を限定して湯沢に住む方もおり、「20 枚では多すぎて残りはゴミになってしまう。」というのである。</p> <p>SDGs の観点からも、コンビニエンスストアなどでの一枚売りで解消されるのではないか。</p> <p>レジ袋と同じように一枚ずつ販売し、使用してもらうのがありがたいというがどうか伺う。</p>	町長
3. 集合墓・合葬墓について	<p>町内では、お墓の後を継ぐ人がなく墓じまいを考えたり、後々のことを心配しているという声がある。</p> <p>最近テレビコマーシャルでも、永代供養付きの樹木葬や集合墓地がみられる。湯沢町でも、集合墓地を設置してもらいたいという声があるが、どのように思われるか伺う。</p>	町長
4. 東成瀬村の教育を湯沢学園に活かせるものはあるか	<p>7月に「学力日本一の東成瀬村」で、次長・校長先生から学力向上についての取り組みを勉強させていただいてきたが、湯沢学園でも取り入れられるものや、今後の取り組みに参考となるものはあったか伺う。</p>	教育長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 建設労働者退職金共済制度（建退共）または中小企業退職金共済制度（中退共）の普及促進に町も協力すべきである</p>	<p>① 現在町で企業活動をしている業者で、従業員の退職金制度を持っている業者はどれくらいあるか掴んでいるか。</p> <p>② 町発注の公共事業を受注したいとして登録している建設業者は 38 社だそうだが、そのうち何らかの従業員の退職金制度に加入している業者は何社か。</p> <p>③ 町発注の公共事業を受注したいとして登録している建設業者に対しては、建退共や中退共などの退職金制度に加入していることを登録の条件にすべきと思う。そのことを通して、退職金制度の普及が図られると考えるが如何か。</p> <p>④ 全ての職種で働く労働者にその仕事を引退するときは退職金が支払われるという環境を作るべく、町もそれなりの努力をしてもらいたい、町長の考えを聞きたい。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 子どもたちの遊び場整備について	<p>子育て世代にとってお出かけ先選びの大事なポイントが、子どもの遊び場が整備されているかどうかだ。</p> <p>子ども達の満足度の高い遊び場は、地元住民のみならず周辺の広域生活圏や、県内～県外といった遠方まで影響がある。今後の遊び場整備の方針について伺う。</p>	町 長
2. 水辺の再整備について	<p>湯沢町は多くの川や沢があり、町中からアクセスしやすい水辺も多くある。これらを整備することによって川遊び以外にも様々な活用の余地があると思われるが、まちづくりやソーシャルデザインの観点などから、どのような取り組みや事業が想定されるか。</p>	町 長
3. 登山道に至る道路の整備について	<p>湯沢町は山に囲まれており、登山の利用が盛んな町だ。登山をするためには、当然ながら登山口まで行く必要がある。</p> <p>そのための交通手段は、自家用車以外には宿泊施設の送迎車両やタクシーなどの公共交通になるが、登山口まで舗装されていない箇所も多く見受けられる。</p> <p>登山口までの道路の整備がしっかりしていれば、これまで以上に登山を中心とした関係人口の拡大が見込めると思うが、今後の登山客のための道路の整備の方針はどう考えるか。</p>	町 長
4. 地域の文化活動について	<p>現在、部活動の地域移行の方針が進められているが、運動部を中心とした体制となっており、文化系部活動の出身だった私としては心配だ。</p> <p>町内で既に活動されている各種の芸術・芸能並びに文化系サークルの活動や、町民の生涯学習、社会教育、地区館を含む公民館事業などのことを考えても、地域の文化・芸術活動</p>	町 長

<p>5. 新型モビリティの導入について</p>	<p>の交流について、しっかりと引き受けられる施設や組織が必要だと考えるが、町の考えはいかがか。</p> <p>湯沢町都市マスタープランや商店街エリア活性化事業報告書などで、新型モビリティに関する記述があるが、今後の導入の方針や実証実験などの予定はどうなっているか。</p>	<p>町 長</p>
--------------------------	---	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 湯沢町においての合宿宿泊の重要性について	<p>① 湯沢町宿泊施設において、合宿宿泊の重要性をどのように考えておられるか。</p> <p>② 湯沢町の合宿宿泊は今年で3年、新型コロナの影響を受けた。3年間合宿ができない状況は、学校の合宿に対する認識が変わる可能性がある。湯沢に引き留めておく対策が必要である。どのように対処していかれるのか。</p>	町長
2. 民宿の人手不足について	<p>従業員の年間雇用できない民宿は、人手不足となっている。民宿の対処としては、「素泊まり」「一泊朝食付き」で対応している宿泊施設が多い。</p> <p>街中では飲食店が連なり容易に食事をとることができるが、郊外では送迎かタクシーを利用して飲食店に行かなければならない。</p> <p>湯沢町地域公共交通活性化協議会において、このような状態克服の対応も考えておられるのかお聞きします。</p>	町長
3. 湯沢町の産業改革とITの2025年の崖について	<p>「ITの2025年の崖」と言われてそれに対応するため、DX（デジタルトランスフォーメーション）が推進されている。</p> <p>① 空き家対策も本当に大事であると思うが、湯沢町のIT事業社の企業誘致も今一層大事になってくる。</p> <p>湯沢町総合計画の基本政策5で、「新たな時代に対応した、地域ぐるみのまちづくり」とある。地域力想像アドバイザーも大事だが、IT専門官がどうしても必要になってくる。専門職を雇うことは考えられないか。</p>	町長

<p>4. I T 関連事業者を誘致するためのインフラ整備について</p>	<p>② I T の 2025 年の崖により I T 関連会社は、D X 推進がうまくできない事業者は淘汰されてしまう。各自治体でもいろいろなシステムが一本化され、細かいシステムはオプション化されると予想される。対応はどうかされるのか。</p> <p>I T 関連事業者を誘致するための、湯沢町のインフラ（電力、通信等）は整備されているとお思いでしょうか。</p>	<p>町 長</p>
---------------------------------------	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 物価高対策等に充てる地方創生臨時交付金の有効活用を図り、取り残しのない経済対策を</p>	<p>政府は、「物価、賃金、生活対策本部」で物価高対策等に充てる地方創生臨時交付金を、既に確保している1兆円から更に増額することを指示している。</p> <p>交付金は、低所得者への給付金上乘せや給食費の負担軽減、農林漁業者などの支援に使われることとなるが、更に地方の実情に応じて効果的に活用できる仕組みも検討されている。コロナ禍における地域経済対策は、直接影響を受けた関連業種や一般住民に対して臨時交付金が積極的に活用され、成果を上げてきた。</p> <p>しかしながら、急激な物価高が進み、住民生活に支障が懸念される中で、観光産業だけではなく、農業資材の高騰による農業経営への影響や他産業への影響が懸念されることから、事前に地方創生臨時交付金の有効活用計画を立てて準備をする必要があると思われるが、町長の考えを伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 全国学力、学習状況調査結果の公表と湯沢学園の教育目標等の検証を</p>	<p>2014年（平成26年）小中一貫教育として開校した湯沢学園が8年目を迎えた。</p> <p>コミュニティスクールとして、地域に学び、地域とともに歩む学校であり、地域住民の声を学校運営に生かし、地域と学校が目標を共有し、子供の豊かな学びを創造するという大目標があったはずである。</p> <p>開校時に掲げた町の教育方針「知、徳、体の調和のとれたたくましく生きる子供」「保小中一貫教育による学びの連続」「地域に愛され地域で育てる学校」そして町の教育課題「学力の向上」「系統的継続的な教育」「学校、家庭、地域の協働」が、開校以来8年が経過した中でどのように実現されているか検証を行う必要がある。</p> <p>まず、最初に今年4月に実施された全国学力、学習状況調査結果が8月28日に公表された、この結果を早急に町民に公表して、地域とともに湯沢の子供たちの学力向上に取り組むべきである。</p> <p>また、スポーツ活動等において、南魚沼市の六日町中学の</p>	<p>町 長</p>

陸上選手が全国制覇、塩沢中学の野球部の活躍が報じられる中、湯沢中学の野球部は単独チームが組めなく、他のスポーツ部の活躍も報じられることなく寂しい限りである。

公立中学校部活動の地域移行が進められ、自治体が調整役を担わなければならない現状を鑑み、教育目標、教育課題を検証する必要がある。

先般、議会の視察研修で訪れた「学力日本一の村 秋田県東成瀬村」の学力向上の基礎を作った前教育長は「小中一貫とか中高一貫とかの教育はハコモノを作って、その中に子供を入れるだけではだめです。頑張る子供たちがいて、熱意のある教職員がいて、学校を理解してくれる保護者、行事に参加してくれる地域の人たち、そして条件整備をする行政の5つの要素がうまくかみ合っこそ成り立ちます。教育委員会はその要素をうまく回転させるためにあります」このことが学校教育の在り方について、すべてを言い尽くしている。

また、全国トップクラスの成績を維持するためには「当たり前のことを、当たり前でできる子供を育てる」必要性を提言している。

以上を踏まえた中で、町長の教育に対する考えを伺う。